

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名 よこはまふじさわ かみながや 横浜 藤沢 線（上永谷地区）	事業区分 街路	事業主体 横浜市	
起終点 自：横浜市港南区 丸山台 四丁目 至：横浜市港南区 上永谷町	延長 0.9 km		
事業概要 本路線は、3環状10放射道路の一つで、本市南部地域の幹線道路として、環状2号線から鎌倉市境を連絡する重要な路線です。			
H1 年度事業化	S44年度都市計画決定 (H7年度変更)	H1 年度用地着手	H6 年度工事着手
全体事業費	49億円	事業進捗率	82%
計画交通量	48,400台/日		
費用便益 分析結果	B/C (事業全体)4.1 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /61億円 〔事業費： /59.8億円〕 〔維持管理費： /0.8億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) /251億円 〔走行時間短縮便益： /219.7億円〕 〔走行費用減少便益： /27.5億円〕 〔交通事故減少便益： /4.0億円〕
			基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）等			
関係する地方公共団体等の意見 事業継続並びに整備の促進を要望します。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のために、道路ネットワークの形成の重要性が高まっています。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度までに約97%の用地を取得しており、工事についても引き続き、土工事、擁壁工事を行います。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得も進み、舞岡上郷線側から工事を進めており、平成17年に完成の予定です。			
施設の構造や工法の変更等 特になし			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由 本市南部地域の放射状の幹線道路として重要な道路であり、早期の事業完了を図る必要性は変わっておりません。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。